様　式　Ｆ－７－１

# 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成２８年度）

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）

4．補助事業期間　平成２７年度～平成２９年度

5．課題番号　１５Ｋ０３５８３

6．研究課題名　1960年代のG10とOECD/WP3

7．研究代表者

| 研究者番号 | 研究代表者名 | 所属部局名 | 職名 |
|---|---|---|---|
| ７０１０７４９９ | イトウ　マサナオ<br>伊藤　正直 | 社会情報学部 | 教授 |

8．研究分担者

| 研究者番号 | 研究分担者名 | 所属研究機関名・部局名 | 職名 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

9．研究実績の概要

本研究は、国際金融システムの維持や運用において大きな役割を果たしてきたいくつかの国際金融組織の機能と実態を歴史実証的に明らかにすることを課題としており、とくに1960年代に重要な役割を果たしたと考えられているG10及びOECD/WP3の検討に焦点を合わせている。前年の研究実績概要で述べたように、平成27年度はアメリカ公文書館に保存されているG10関係資料の分析とアジア国際金融市場のハブとして機能してきたシンガポール金融市場の分析を行った。平成28年度は、当初平成27年度に予定していたが、ヨーロッパ金融財政不安の影響で延期となったスイスバーゼルのBIS調査を、平成28年8月に実施し、1960年代から80年代にかけてBISが事務局となって行ったG10の会議準備資料、国際金融市場に関する実態調査、統計分析などの関連資料、OECD/WP3との調整関連資料などの収集を行うことができた。また、平成28年10月には、日本金融学会の共通論題「われわれは高橋是清から何を学ぶのか」にコメンテイターとして参加し、日露戦時国債の起債者としての高橋、昭和恐慌期における高橋財政の枠組み等の分析から国際金融と国内金融の接点を分析する上での比較視座の検討を行った。さらに、平成29年3月には、中国の国際金融市場への参入とその結果として生起している中国経済のバブル化についての国際シンポジウムに参加し、「バブル経済の中日比較と金融システムの安定」という論題で報告を行った。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

## 10. キーワード

| | | | |
|---|---|---|---|
| (1) 国際金融機関 | (2) OECD/WP3 | (3) BIS | (4) G10 |
| (5) ブレトンウッズ体制 | (6) 大蔵省 | (7) 日本銀行 | (8) |

## 11. 現在までの進捗状況

（区分）（2）おおむね順調に進展している。

（理由）

当初平成27年度に予定していたBIS調査を、平成28年度8月に実施し、主としてヨーロッパ側の国際金融市場や国際金融機関に対する認識を確認することができた。これに対応するアメリカ側の認識については、以前収集したアメリカ公文書館RG56資料によって確認することができたが、ただし、BIS資料とRG56資料との間で、不対応の部分があり、この補足調査が、現在必要となっている。この補足調査は、平成29年度に行い、成果の取りまとめに入りたいと考えている。

## 12. 今後の研究の推進方策　等

（今後の推進方策）

平成28年度に述べたように、これまで収集してきた資料群をベースに、1960年代後半に生起した国際金融危機（1967年のポンド切下げに始まり、金プール制廃止、金の二重価格制採用、SDR創設、ドイツマルク切り上げ、フランスフラン切下げ等）に対するG10、OECD/WP3の理論的認識や具体的対応を検出することに努めたい。また、この作業を通じて、1960年代におけるこれらの国際金融機関の機能と制度的実態を解明することを試みたい。

（次年度使用額が生じた理由と使用計画）

（理由）

平成27年度実施予定であったBIS調査が、ヨーロッパ金融不安の影響で延期となり、平成28年度8月に実施した。このため、平成28年度のアメリカ公文書館補足調査が、当該年度に実施できず、平成29年度に実施することとしたため。

（使用計画）

平成29年度夏にアメリカ公文書館調査を実施する。

（課題番号： 15K03583 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

13.研究発表（平成２８年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計（０）件／うち査読付論文　計（０）件／うち国際共著　計（０）件／うちオープンアクセス　計（０）件

| 著　者　名 | 論　　文　　標　　題 |
|---|---|
| | |

| 雑　　誌　　名 | 査読の有無 | 巻 | 発行年 | 最初と最後の頁 | 国際共著 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） |
|---|
| |

| オープンアクセス |
|---|
| |

〔学会発表〕　計（２）件／うち招待講演　計（１）件／うち国際学会　計（１）件

| 発　表　者　名 | 発　　表　　標　　題 |
|---|---|
| 伊藤正直 | われわれは高橋是清から何を学ぶのか |

| 学　会　等　名 | 発表年月日 | 発　表　場　所 |
|---|---|---|
| 日本金融学会全国大会 | 2016年10月16日 | 関西大学 |

| 発　表　者　名 | 発　　表　　標　　題 |
|---|---|
| 伊藤正直 | 泡沫経済の中日比較と金融システムの安定 |

| 学　会　等　名 | 発表年月日 | 発　表　場　所 |
|---|---|---|
| 天津理工大学国際シンポジウム（招待講演）（国際学会） | 2017年03月21日～<br>2017年03月22日 | 天津理工大学 |

（課題番号： 15K03583 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

〔図書〕　計（１）件

| 著　者　名 | 出　版　社 |
|---|---|
| 伊藤正直・浅井良夫・櫻井敬子 | 白峰社 |

| 書　　名 | 発行年 | 総ページ数 |
|---|---|---|
| 平成財政史　平成元～12年度　７　国際金融・対外関係事項・関税行政 | 2017 | 545 |

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件

| 産業財産権の名称 | 発明者 | 権利者 | 産業財産権の種類、番号 | 出願年月日 | 国内・外国の別 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

〔取得〕　計（０）件

| 産業財産権の名称 | 発明者 | 権利者 | 産業財産権の種類、番号 | 取得年月日<br>出願年月日 | 国内・外国の別 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件

| 国際研究集会名 | 開催年月日 | 開催場所 |
|---|---|---|
| | | |

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

（課題番号： 15K03583 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

17.備考

（課題番号： 15K03583 ）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。